

団体名：おかやまオーガニック

所在地：岡山県岡山市

応募区分：人材育成の部

面積：2.2ha

構成員：6人

栽培品目：水稻、野菜

取組の紹介

【Uターン就農から有機農業経営の確立】

- 平成7年に代表が東京から岡山へ帰郷し、家族の健康を思い近隣の農家から有機農業を学び始めたのがきっかけで技術習得を進め、慣行ほ場を有機ほ場に転換、平成13年にはおかやま有機無農薬農産物（有機JAS）の認証を取得。平成15年「おかやまオーガニック」設立。現在は、6名（5戸）が約2.2haで水稻、野菜の有機栽培に取り組む。特に土づくりにこだわり、約60品目の少量多品目生産で年間を通じた出荷を行っている。

【新規就農者支援】

- 栽培技術や経営に関する実践的な研修を行うとともに、就農者のために予めほ場の確保を行い、有機JAS認証ほ場への転換を行うことで、就農と同時に有機農産物の生産に取り組める体制を構築し、経営者として独立できるよう支援を行う。これまでに市やJAと協力し4名（4戸）を新規就農させた。現在の構成員のうち代表以外の4戸は県外からの新規参入であり、それぞれ専業で経営を確立させている。
- 販路については各生産者が独立して開拓するが、新規就農者へ一部を引き継がせるとともに、生産量が確保できるまでは不足分を組織全体で相互にフォローする等、早期の経営安定を支援している。

【地域と連携した取組の推進】

- 平成29年より全国からの受注を開始。また、規格外有機野菜を使用した「ベジタブルブロス」（有機野菜だし）を開発、同年1月に六次産業化法に基づく総合化事業計画の認定を受け、販路拡大を進めている。
- コロナ禍においては、営業短縮となった取引先ホテルの若手料理人を招いて農作業に従事してもらう交流活動を行い、相互の信頼構築と地産地消への理解を深めるなど、逆境下にあいながらも将来を見据えた取組を進めている。



有機野菜の栽培



公開ほ場での現地研修



商談会（アグリフードエキスポ）